

# 介護用品ピュアット 検証結果報告

介護ロボット実用化促進事業（在宅型）

令和8年度 訪問看護ステーションななほし

# 検証目的 背景 検証方法

## ○ 検証目的

介護用品ピュアット使用による皮膚状態(水分量・油分量・弾力)への影響を検証する。

## ○ 背景

訪問現場における清潔保持と介助負担軽減  
皮膚トラブル予防と快適性向上を目的に実施

## ○ 検証方法

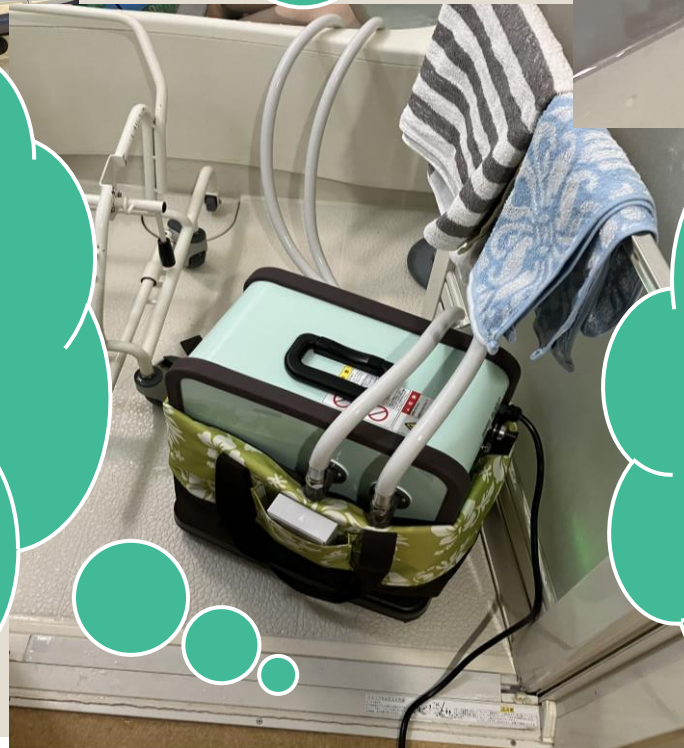
通常入浴・足浴時の皮膚状態データとピュアット使用時の皮膚状態データを比較する。データはスキンチェッカーで水分量・油分量・弾力を測定する。




ピュアットは  
社用車に乗せて  
搬入していました  
建物内の通路  
などでは  
プラケースに入れ  
てキャリーで  
移動




浴室にピュアッ  
トを設置し、  
ホース2本を  
浴槽に入れて、  
5分間  
稼働させます




湯船にウルトラ  
ファインバブル  
が  
発生中！！



足浴中！！  
足に血色が  
戻ってきました



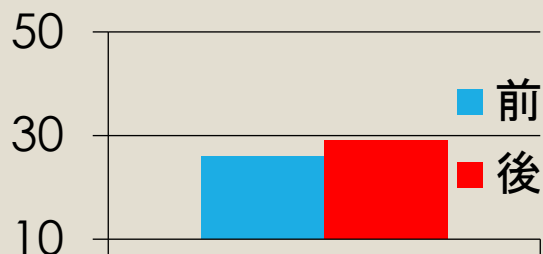
足浴後は、  
肌がとても明るく  
なり、温かくなり  
ました！  
利用者様も実感あり



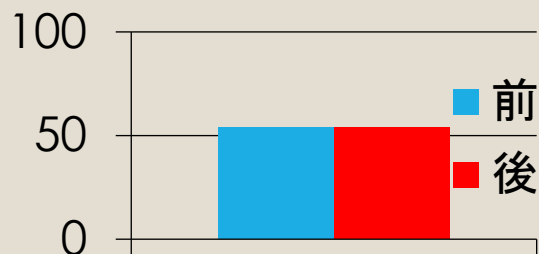
足浴前の  
利用者様の足  
です  
肌が冷たく、  
血色も悪いで  
す

# 通常入浴時の皮膚状態

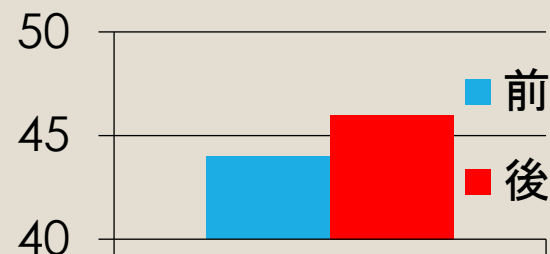
上肢 水分量(%)



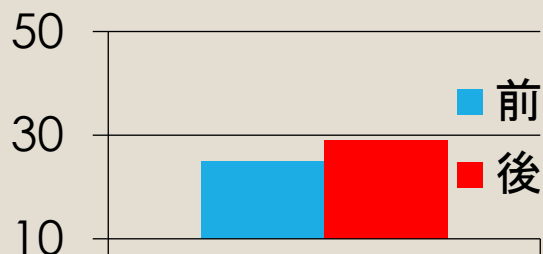
上肢 油分量(%)



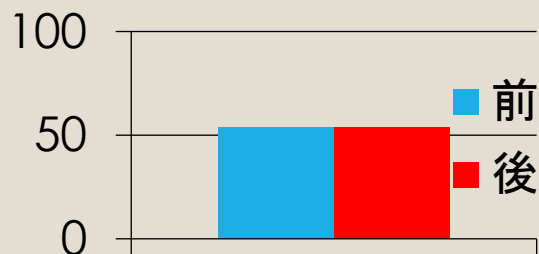
上肢 弾力



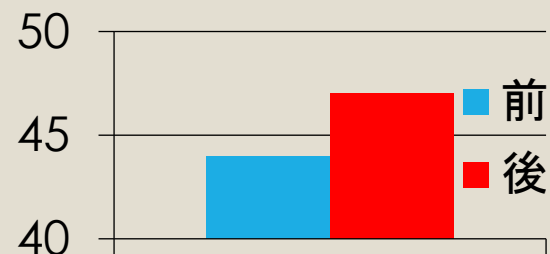
下肢 水分量(%)



下肢 油分量(%)

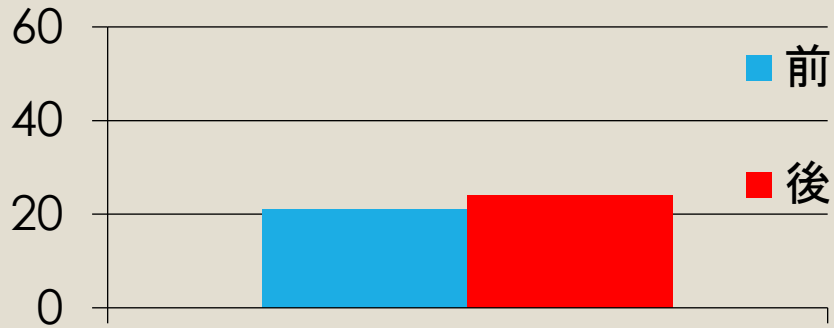


下肢 弾力

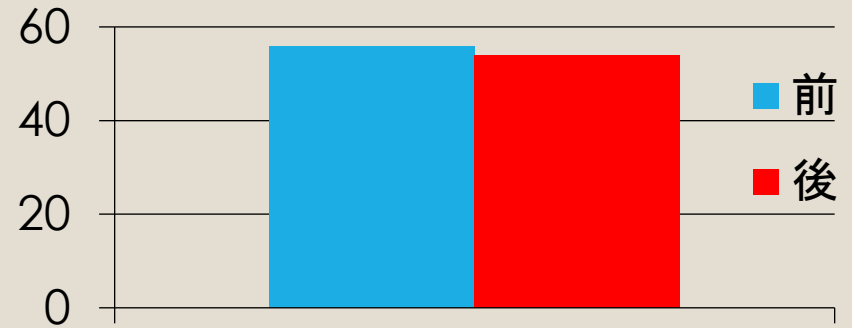


# 通常足浴時の皮膚状態

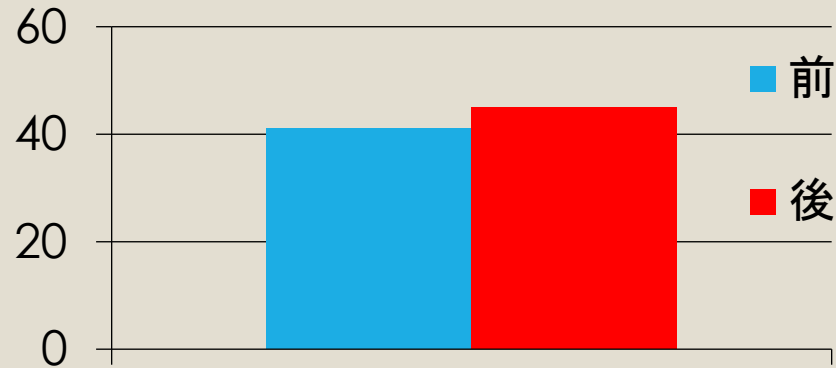
水分量(%)



油分量(%)



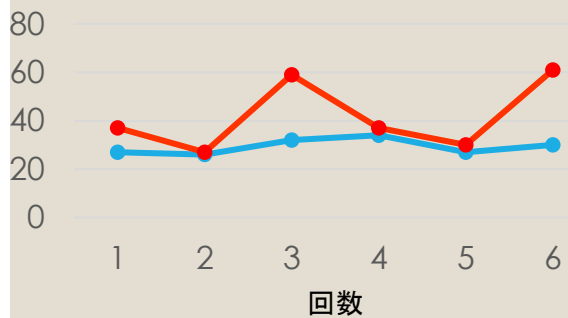
弾力



# ピュアット使用時(入浴)の皮膚状態

入浴前：青線      入浴後：オレンジ線

## 上肢 水分量(%)



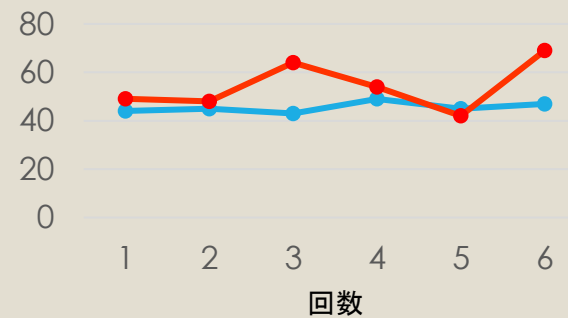
● 入浴前 ● 入浴後

## 上肢 油分量(%)



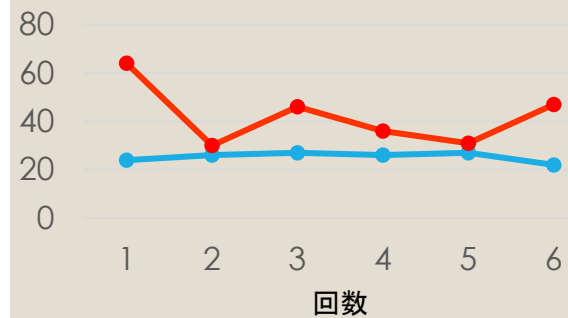
● 入浴前 ● 入浴後

## 上肢 弾力



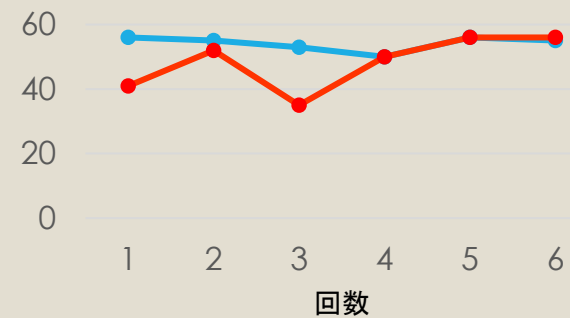
● 入浴前 ● 入浴後

## 下肢 水分量(%)



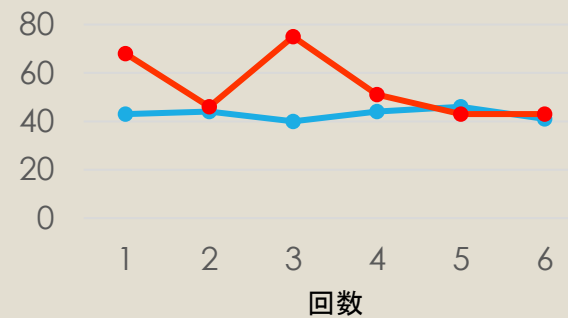
● 入浴前 ● 入浴後

## 下肢 油分量(%)



● 入浴前 ● 入浴後

## 下肢 弾力

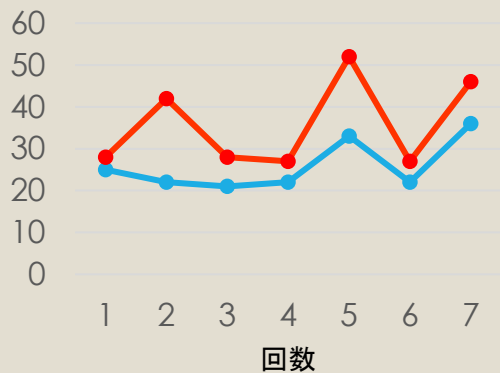


● 入浴前 ● 入浴後

# ピュアット使用時(足浴)の皮膚状態

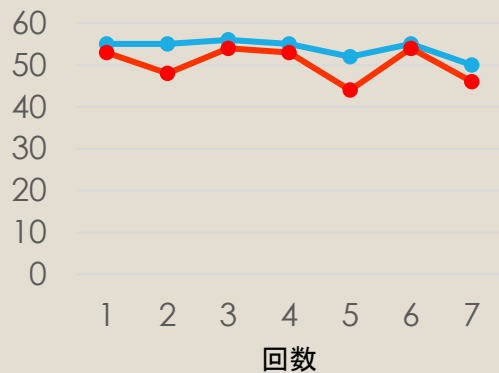
入浴前：青線      入浴後：オレンジ線

## 水分量



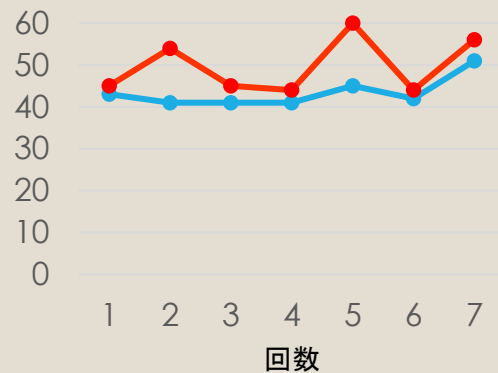
● 入浴前   ● 入浴後

## 油分量



● 入浴前   ● 入浴後

## 弾力



● 入浴前   ● 入浴後

# 検証結果 まとめ 評価

- ・入浴・足浴ともに皮膚の水分量、油分量、弾力の改善が確認された

通常の入浴・足浴よりもピュアットを使用した時の水分量・弾力は格段に上がっていた。油分量も適度な数値に落ち着いている

- ・ピュアットを使用することで、保湿剤による皮膚への浸透・保湿力、身体の保温性が向上された

- ・通常の入浴・足浴時と違い、ピュアット使用時は、こすり洗いをせず、ウルトラファインバブルの力だけで洗浄しているため、スキントラブルもなく検証を行えた

- ・利用者様からの評価は高く、浴後のリラックス効果も得られた

- ・ご家族様からはピュアット自体の重量（本体15kg）や大きさが負担になるとの反応が多かった

在宅での介助者の介護負担の軽減を実現化するには福祉機器の改良も必要である  
と考える